PolicyGarage

自治体ナッジ・ユニット図鑑

2024

2024/12/11

はじめに

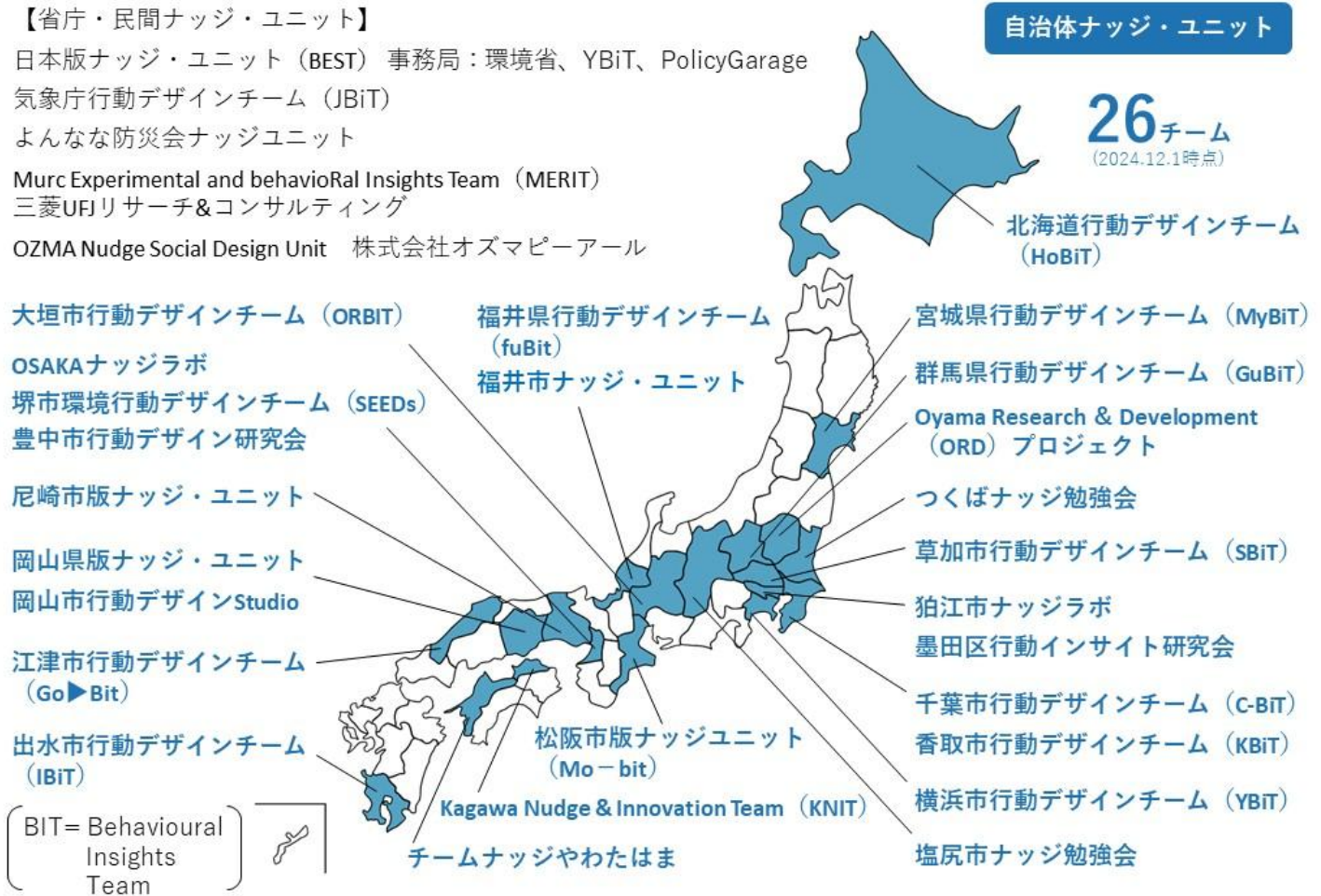
近年、自治体ではナッジを推進するチーム
「自治体ナッジ・ユニット」
が増えています。

ここでは、自治体ナッジ・ユニットが、ナッジをどのように普及・実践し、政策や組織を良くしようとしているのか、全26チームの熱意と個性あふれる取り組みやチーム同士の連携について図鑑としてまとめました。

この図鑑が、ナッジを実践しようと考えている方々や、これからチームをつくろうしている方々、今の取り組みをもっと良くしたいと思っている方々のヒントや一歩踏み出す後押しになれば幸いです。

＜チーム数の推移＞
2019.12： 4 → 2020.12： 6 →
2021.12 : 10 → 2022.12 : 15 →
2023.12 : 22 → 2024.12 : **26**

【省庁・民間ナッジ・ユニット】
日本版ナッジ・ユニット（BEST） 事務局：環境省、YBiT、PolicyGarage
気象庁行動デザインチーム（JBiT）
よんなな防災会ナッジユニット
Murc Experimental and behavioRal Insights Team（MERIT）
三菱UFJリサーチ&コンサルティング
OZMA Nudge Social Design Unit　株式会社オズマピーアール



図鑑の読み方

1 チーム名。（ ）内は略称

2 チームのロゴマーク 又は 自治体の紋章

3 チームが設置されている 又は 主に活動している自治体

4 形態の区分

公式
…自治体の特定部署が公式的に取り組む形態

有志
…有志の職員が主に業務時間外の活動として取り組む形態

ハイブリッド
…事務局の部署が他部署からもメンバーを公募する、又は、有志職員により始まった活動が公式化された形態

（参考）高木佑介、山中慶子、宇山生朗、佐々木周作「地方自治体におけるナッジ活用の促進要因と課題の整理ーナッジ・ユニットの体制構築の観点からー」

5 ホームページや取組事例の詳細が掲載されたウェブサイト



北海道行動デザインチーム （HoBiT）

自治体	北海道	設立	2020.3	メンバー	10人	形態	有志(メンバーの一部が庁内公式活動)

目的/概要	「ナッジ」と「デザイン思考」のソリューションを道庁及び道内市町村等に浸透させることで、道内における公共サービスの成果向上と定量化を推進する。

【最近の取り組み、特徴】

■ NPO法人設立総会の開催

2024.9.6、NPO法人設立総会を開催。

「道民が自発的に理想の一歩を踏み出せる社会を創出する」をミッションに掲げ、より効果的・実践的な活動を展開。



■ 2024年の取組

自治体、大学などを対象に研修、伴走支援を実施したほか、オンラインのHoBiTゼミを開催。

また、メンバーの一部が「ナッジ隊」として職員研修や伴走支援などの庁内公式活動を実施。

〈主な支援プロジェクト〉	
■ HoBiT	
①	美瑛町オーバーツーリズム対策(国、自治体、民間)
②	運動無関心層の健康的生活習慣への変容(自治体、大学)
③	歩行者の乱横断防止(警察)
■ ナッジ隊	
①	環境配慮行動の促進(道、大学)
②	釧路町民向けアンケートの回収率向上(道、自治体)

HP等	https://hobitofficial.wixsite.com/info

宮城県行動デザインチーム （MyBiT）

自治体	宮城県	設立	2022.6	メンバー	23人（派遣職員1人）	形態	ハイブリッド

目的/概要

・多様な組織と連携しながら、ナッジを起点にデザイン思考やBPMの実践・普及に取り組むチーム。
・職員確保プランにも位置付けられる庁内複業制度として運営。月5時間を上限に公募職員が業務として活動。
・プログラミング・AIを得意とする「デジタルカイゼン隊」と一部連携し、デジタル媒体のUI改善や生成AI活用も推進。

○庁内所属との連携事業

行動デザインの考え方を共通言語にしながら、空間づくりやDXに幅を広げ、アジャイルに活動

・#7119の普及・啓発(図1)
・交流スペースの空間デザイン(図2)
・庁内イントラ・アプリ等のUI改善(図3)
・職員のエコ行動の促進
・新規採用の取組企画・提案

図1 #7119掲示物のプロトタイピング



図2 交流スペースレイアウトのラフスケッチ



図3 ノーコードや生成AIを積極活用した改善



図4 多様なメンバー同士で熱く、楽しく議論



○勉強会・研修会・情報発進

メンバーだけではなく、庁内外の仲間と共に成長を目指し、最新の知見も含めて習得

・債権回収勉強会でナッジ解説
・EBPM勉強会(図5)
・デザイン思考研修(図6)
・情報発信、情報交換チャット(図7)
・関連書籍コーナーの設置(図8)

図5 デジタル庁のテンプレでダッシュボード作成



図6 山形県デザイン職員を招いてワークショップ



図7 Myジャーナルの発行、Myチャンネルの運用



図8 書籍を持ち寄り自己研鑽100件以上の貸出実績



HP等

・全国知事会 令和5年度 優秀政策ページ https://www.nga.gr.jp/bank/kaigi/4_1.html
・自治体ナッジシェア MyBiT活動報告書 https://nudge-share.jp/ff37e8ae43fa4785963ee4d4c4c0eba5

つくばナッジ勉強会

自治体	茨城県つくば市	設立	2019.12	メンバー	12人	形態	公式

目的/概要	ナッジの事例研究や庁内への普及に取り組むため、市長や当時の政策イノベーション部長等からのトップダウンにより部内の課室長から推薦された職員等で発足。

ナッジ勉強会の業務は公務の一環

業務時間内にナッジ勉強会の活動を実施し、活動の持続可能性を担保している
勤務時間外の業務に対しては超過勤務手当を支払うことも可能

メンバーが人事異動で部外に異動となった場合でも異動先で活動を継続

異動先の担当業務等でナッジを活用することで庁内へナッジの考え方を浸透させる

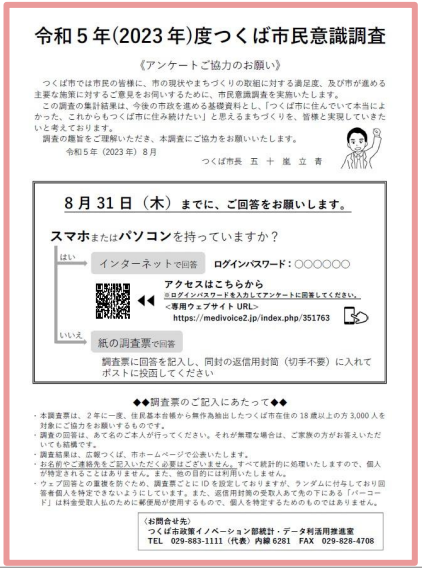
【これまでの取組】

・ナッジ勉強会の開催（月1回）
・庁内からのナッジ相談対応（実績 68件 (R6年5件)）
・庁内ナッジ相談weekの開催（毎年7月頃）
・庁内イントラ掲示板でナッジ通信の発行
・市民意識調査へのナッジ活用よる回収率向上
・催告書の納付率向上ナッジ





シール見本



令和５年(2023年)度つくば市民意識調査

《アンケートご協力のお願い》

つくば市では市民の皆様に、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対するご意見をお伺いするために、市民意識調査を実施いたします。
この調査の集計結果は、今後の市政を進める基礎資料とし、「つくば市に住んでて本当によかった、これからもつくば市に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。
調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力をお願いいたします。

令和５年（2023年）８月

つくば市長　五　十　嵐　立　青

８月31日（木）までに、ご回答をお願いします。

スマホまたはパソコンを持っていますか？

はい → インターネットで回答　ログインパスワード：○○○○○○

アクセスはこちらから
※ログインパスワードを入力してアンケートに回答してください。
<専用ウェブサイト URL>
https://medivoice2.jp/index.php/351763

いいえ → 紙の調査票で回答

調査票に回答を記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてポストに投函してください

◆◆調査票のご記入にあたって◆◆

・本調査票は、２年に一度、住民基本台帳から無作為抽出したつくば市在住の18歳以上の方3,000人を対象にご協力をお願いするものです。
・調査の回答は、あてるのご本人が行ってください。それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
・調査結果は、広報つくば、市ホームページで公表いたします。
・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、他の目的には利用いたしません。
・ウェブ回答との重複を防ぐため、調査票ごとにIDを設定しておりますが、ランダムに付与しており回答者個人を特定できないようにしています。また、返信用封筒の受取人名で先の下にある「パーコード」は料金受取人払のために郵便局が使用するもので、個人を特定するためのものではありません。

（お問合せ先）
つくば市政策イノベーション部統計・データ利活用推進室
TEL　029-883-1111（代表）内線 6281　FAX　029-828-4708

HP等	『環境省のベストナッジ賞コンテスト2021で 大賞を受賞しました』https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/177/2021NO192.pdf 『消毒したくなる 新型コロナウイルス感染症対策に「ナッジ」理論を取り入れ検証』 https://www.city.tsukuba.lg.jp/soshikikarasagasu/seisakuinnovationbutokei_datarikatsuyosuishinshitsu/gyomuannai/2/1012547.html

Oyama Research & Development（ORD）プロジェクト

自治体	栃木県小山市	設立	2022.10	メンバー	36人(+8)	形態	有志
目的/概要	地方自治体がその価値を高めていくために、アンテナを高めて積極的に情報収集し、課題の本質を見極め、的確な解決策を探っていく職員の養成・職員間のネットワーク強化が求められており、ナッジも含めて、その一助を担うための政策・業務研究および新たな解決策の開発に向けた情報共有、自己啓発の場を創出することを目的として活動しています。						

【最近の取り組み、特徴】

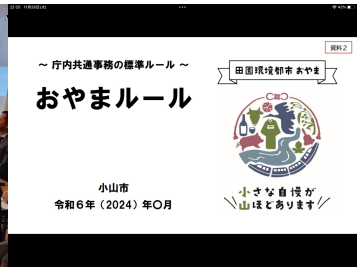
①内部向け自主勉強会
→庁内の諸問題について、調査・研究を行う
→提言する、行動する

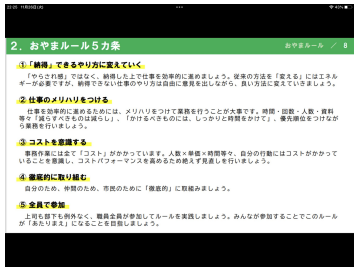
②まちの課題を解決する組織を目指す
→まちの課題について、調査・研究を行う
→まちの課題について、行動を起こす
→解決する

③自主研究を通して、メンバー個々の資質向上とヨコの連携強化を目指す！

★2024取組事例★ 庁内ルール制定(会議、資料作成)
派生チーム(内規により係長未満限定)による、ムダな会議・ムダな資料削減のためのルール制定→市長も認識のもと、庁内普及啓発中







2023.10～　ナッジの活用研究スタート！

HP等	https://oyamaord.wixsite.com/home

群馬県行動デザインチーム （GuBiT）

自治体	群馬県	設立	2022.2	メンバー	？人	形態	有志
目的/概要	人間に沿った施策を企画できる公務員に成長し、もっと公務を楽しくする方法を学ぶための場						

【最近の取り組み、特徴】
しごとを楽しくすることを目標に、
ナッジやデザイン思考、EBPMを学ぶ場にしたい！



Appendix
行動デザインを巡る庁外の取組

2020　若手職員向け自主勉強会
「Nudge」の理論と実践
講師：YBiTのみなさん
対象：市町村職員、県職員
2022～
尾瀬トイレチップPJ
公益財団法人　特定非営利活動法人
尾瀬保護財団×Policy Garage

HP等	尾瀬トイレチップPJ　https://note.com/policygarage/n/n9acff1bb632a

草加市行動デザインチーム （SBiT）

自治体	埼玉県草加市	設立	2023.9	メンバー	2人	形態	有志
目的/概要	チラシ・ポスターの広報物はもちろんのこと、公共空間の環境デザインについても企画。 本市だけでなく、近隣自治体・日本にナッジを普及させるべく活動を開始した。						

最近の取り組み

2023.9.15　市町村アカデミーを修了
2023.9.19　SBiTを設立
2023.11.11　ナッジ勉強会（庁内）実施
2024.6.26　大正大学：講師
2024.9.13　市町村アカデミー：講師
2024.9.27　ナッジ勉強会（庁内）実施



チームの特徴

スピード感と柔軟性を武器に、行動科学の知見を業務に取り入れています。
チームメンバーが広報課所属である強みを生かし、情報発信力を駆使して庁内外への浸透を推進。
さらに、プロジェクトや勉強会を通じて、庁内での意識改革を実現。



HP等	-

千葉市行動デザインチーム （C-BiT）

自治体	千葉県千葉市	設立	2023.5	メンバー	16人	形態	ハイブリッド

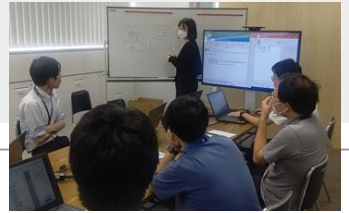
目的/概要	ナッジを活用した改善・改革の推進のために発足。庁内有志＋事務局＋アドバイザーのハイブリッド型。 庁内からのナッジ活用相談に対応したり、チーム内で勉強会を行ったりしています！

庁内からのナッジ活用相談

・がん検診を受診してほしい！
・剪定枝を資源物の回収日に出してほしい！
・イベントで割りばしを分別回収したい！
・公衆トイレをきれいに使ってほしい！
・補助金書類の提出期限を守ってほしい！

チーム内勉強会

・セミナーの視聴
・バイアスの勉強会（予定）
・アウトプット型勉強会（予定）







HP等	-

香取市行動デザインチーム （KBiT）

自治体	千葉県香取市	設立	2024.9	メンバー	2人	形態	有志

目的/概要	ナッジをベースにデザイン思考やEBPMの導入・推進を図り、より良い市民サービスの提供を支援する。 それらの活動を通じて、職員の政策立案能力と仕事に対する満足度の向上を目指す。

【最近の取り組み、特徴】

2024.9.9～13　市町村アカデミー「ナッジ等を活用した政策イノベーション」 2名修了

2024.9.17　　香取市行動デザインチーム「 KBiT」立ち上げ宣言

2024.9.20　　周知活動（ナッジのフリマ　8名参加）

2024.11　　ナッジ周知のための説明会を企画中



個人業務の中でナッジを取り入れたチラシを作成するなど、
無理のない範囲で活動を実施している。

取組結果は読み物としてまとめ、庁内イントラで配信する体制を
徐々に整えていく。

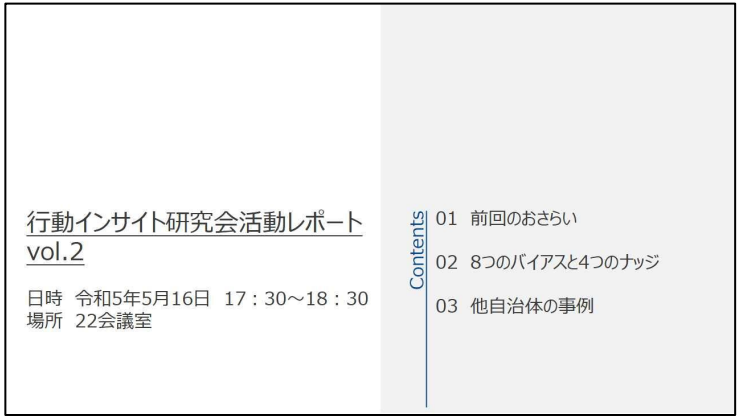
HP等	

墨田区行動インサイト研究会

自治体	東京都墨田区	設立	2023.3	メンバー	9人	形態	有志
目的/概要	行政や民間のあらゆる場で課題解決のツールとして注目されている「行動インサイト」。この理論を学び、現場での実践を見据えた研究を重ね、政策に反映できるアイデアを創出すること						

【特徴】
完全有志のメンバーによる活動
勤務時間外（17:30から1時間程度）に庁内会議室又は
オンラインにて研究会を開催

【最近の取り組み】
・定例研究会（月 2回）
・全庁掲示板で活動レポート報告（月 1回程度）
・庁内向けナッジ勉強会（ 2023.9）
・庁内部署との連携取組
→区民の省エネ行動を促すナッジ案の検討に、研究会
として参画

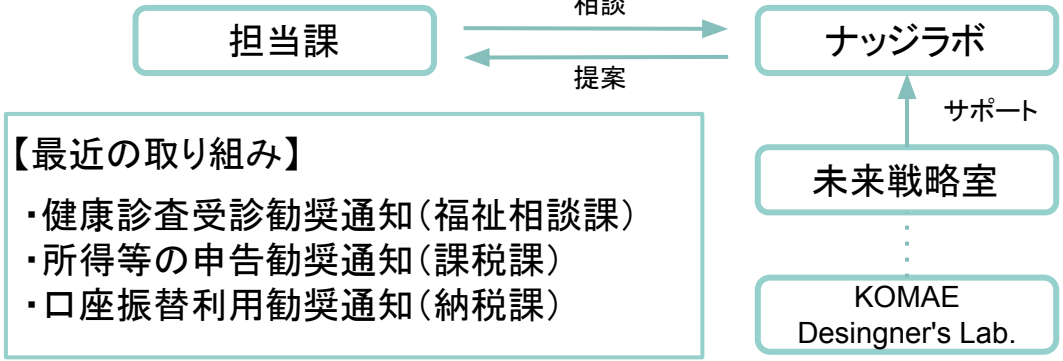


HP等	-

狛江市ナッジラボ

自治体	東京都狛江市	設立	2024.1	メンバー	10人	形態	ハイブリッド
目的/概要	狛江市の若手職員を中心とした自主研究グループです。庁内での行動経済学・ナッジ理論の活用拡大を図り、業務の効率化や職員の実務能力向上に取り組んでいます。						

【特徴】
2023年度に市職員×地域デザイナーの連携により狛江駅前での自転車の押し歩き（おしチャリ）を推進し、「ベストナッジ賞コンテスト2023オーディエンス賞」を受賞した「狛江市おしチャリラボ」が前身です。
未来戦略室を事務局とするハイブリッド型で、庁内各課の「困りごと」を募集して伴走支援しています。



【最近の取り組み】
- 健康診査受診勧奨通知（福祉相談課）
- 所得等の申告勧奨通知（課税課）
- 口座振替利用勧奨通知（納税課）



フィールド拡大に伴って衣替え

HP等	https://note.com/komae_design/n/nc3a75bf16fcf

横浜市行動デザインチーム （YBiT）

自治体	神奈川県横浜市	設立	2019.2	メンバー	15人	形態	有志

目的/概要	横浜市職員有志中心に設立。市民や社会にとって真に効果的な行政サービスの提供をミッションに、やりがいやワクワク感、心理的安全性を大切にしながら活動しています。

【特徴】
・OECD公認。日本の自治体初のナッジ・ユニット。
・BESTからナッジアンバサダーに任命される。
・EAST®翻訳、普及体制についてRIETI論文執筆。



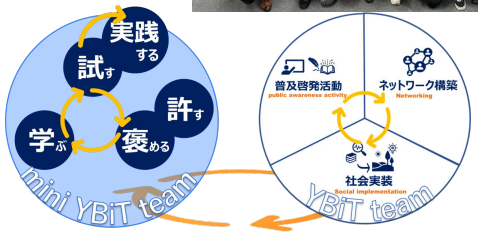
PolicyGarageの研究会も共催。
2024年9月はリアル開催@横浜



【最近の取組】
・「仲間を増やし、小さく作り続ける」をテーマに活動を継続＆拡大

YBiTランチタイムゼミ
毎月第３火曜日昼休み

研修講師
R４から市人材育成研修にナッジ研修追加！



・職員採用イベントとして、学生向け「行動経済学『ナッジ』を学ぶワークショップ」を　1/18に開催

HP等	ホームページ　https://ybit.jp/ 日本の地方自治体における政策ナッジの実装：横浜市行動デザインチーム　(YBiT)の事例に基づく体制構築と普及戦略に関する提案 https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20100008.html

福井県行動デザインチーム （fuBit）

自治体	福井県	設立	2022.12	メンバー	約40人	形態	ハイブリッド

目的/概要	外部専門家や団体と協働しながら、ナッジを政策立案に取り入れるプロジェクト[　fuBit（フゥビット）]を進行中。人に寄り添った施策の検討・実践を目指しています。

【最近の取り組み、特徴】

職員向け研修の実施

- ナッジの基本や活用事例、実践方法を学んだ上で、実際にナッジにトライ。
- 県職員のほか、県内の市町職員も参加可能。
- NPO法人PolicyGarageと連携。





各所属でのナッジの実践（研修で取扱った事例を実践）

- テーマ：統計グラフ福井県コンクールの応募促進
- ナッジ：チラシ表面にみんなで丸シールを貼ってつくるグラフエリアを設置
  （**Easy／Attractive／Social**）
  チラシと一緒に丸シールを郵送（**Attractive**）
  統計グラフの作り方を紹介したYouTube動画を掲載（**Easy／ Attractive** ）
- 効　果：応募者数が前年度に比べ、**約３倍に増加**





◀グラフエリアを設置



◀丸シールをあわせて郵送

HP等	-

福井市ナッジ・ユニット

自治体	福井県福井市	設立	2023.4	メンバー	8人	形態	ハイブリッド
目的/概要	ナッジを政策に取り入れることで、市民サービスの向上や行政運営の効率化を図ることを目指す。 各所属から寄せられたナッジ相談を支援。メンバー内での月例研究会（テキスト輪読等）も開催。						

【最近の取り組み、特徴】

情報発信

➡庁内イントラネットに「**ナッジ通信**」を掲載

相談支援

➡所属から寄せられた相談**20件**を支援（設立～R6.10月末時点）

人材育成

➡**職員研修会**の開催

ナッジ活用の一例

●大腸がん検診の受診率向上ナッジ



最も効果の高いナッジをRCTにて検証



市長への受賞報告会の様子

HP等	福井市HP：https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/policy/p026413.html 活動紹介YouTube：https://youtu.be/kD46wEiZyfo?si=9UWUfVZyT1el36l4

松阪市ナッジユニット （Mo-bit）

自治体	三重県松阪市	設立	2024.5	メンバー	10人程度	形態	ハイブリッド
目的/概要	庁内にナッジの考え方を浸透させることを目的に、若手職員からベテラン職員まで 10名程度の職員で構成されています(メンバーは毎年度庁内公募※前年度より継続も可)。						

(1)主な取り組み

①参加メンバーの資質の向上

メンバーが自分の所属でナッジを生かした実践や提言ができるように事例研究や研修への参加により、知識や経験の充実を図る。

②庁内の課題・相談を解決

庁内から募集した業務に関わる相談を、Mo-bitのメンバーがナッジを活用して解決に取り組む。

③職員のナッジ認知度向上に向けた啓発活動

（庁内掲示板へ「ナッジ通信」を発信）

【R5年度実績】指定給水装置工事事業者の指定更新申請に関する通知の変更、依頼のあった部局へのナッジ研修、ハンドブック作成等



(2)特徴　令和6年度からメンバーは兼務辞令を受けている。

塩尻市ナッジ勉強会

自治体	長野県塩尻市	設立	2022.9	メンバー	52人	形態	ハイブリッド

目的/概要	市民のためにナッジ理論を生かす勉強会。若手職員を中心に、個人ワークを共有して学び合うスタイル。 リアル勉強会は年に数回で、随時チャットで共有、報告等。

【最近の取組】

近年力を入れてきた税務広報にナッジを活用したことで、令和5年度総務省特別表彰＆第 18回マニフェスト大賞優秀賞を受賞 →



評価されたナッジ

①「損失回避性」「アンカリング効果」等で数字で分かる成果

② ゲーミフィケーションの活用（子ども向けボードゲーム制作）









HP等	総務省特別表彰＆第18回マニフェスト大賞優秀賞特設サイト https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/3/34814.html

OSAKAナッジラボ

自治体	大阪府	設立	2024.9	メンバー	15人	形態	ハイブリッド
目的/概要	大阪府におけるナッジ活用の推進を目的に設置。業務におけるナッジ活用を前提とした業務として参加するメンバー、庁内副業制度を活用したメンバー、事務局（企画室連携課）で構成。						

大阪府

〇2022年12月、大阪大学社会経済研究所と「ナッジの社会実装に向けた連携協定」を締結

＜取組状況＞実施中も含め5部局14案件

部局	件数	うち阪大と連携	相談案件の内容 ★阪大連携案件（11件）下線は完了案件（6件）
危機管理室	3件	3件	企業向け防災ガイドライン作成（助言）★ 企業向けの防災チラシ作成（委託研究）★ 津波対策（委託研究）★
人事局	5件	5件	男性育休促進（助言）★、時間外削減（助言）★、 職員の特定健康指導（助言）★、被保険者の特定健診（助言）★、 職員の風しん抗体検査（実証実験）★
健康医療部	2件	1件	重複多剤薬管理へのナッジ活用★
環境農林水産部	3件	2件	環境教育行動計画への助言（助言）★ 脱炭素に資するナッジの実装に向けて検討体制の構築 3Rの推進（実証実験）★※阪大学生と連携
都市整備部	1件	-	省エネ住宅啓発チラシへのナッジ活用
計	14件	11件	

〇2024年9月、「OSAKAナッジラボ」スタート



＜職員研修＞2022:144名、2023:177名



強みです！





～ナッジラボでできること～

- ナッジの**知識・スキルを身に着ける**
- ナッジの**最新情報を得る**
- みんなで**ナッジに挑戦する**

堺市環境行動デザインチーム （SEEDs）

自治体	大阪府堺市	設立	2021.8	メンバー	11人	形態	ハイブリッド

目的/概要	市の環境施策へのナッジ活用促進や庁内外へのナッジの波及、 EBPM・行動デザイン普及への貢献を目的に活動する、環境局職員有志によって構成された局内プロジェクトチーム

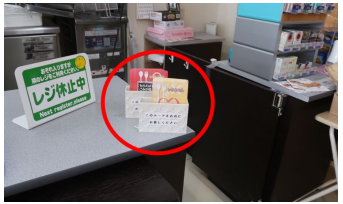
【特徴】
環境分野に特化した全国初のナッジ・ユニット
CO2削減やごみ減量などにつながるナッジ活用事例を創出

【最近の取組】

○市役所内の
ペーパーレス推進



○コンビニの
カトラリー配布削減



○職員の階段利用促進



○堺エコライフポイントアプリ※を用いた環境行動促進ナッジメッセージ配信



※環境行動の実践に対してポイント（電子マネー等への交換、プレゼント抽選に利用可能）を付与することで、市民等の環境行動を促進するアプリ

○その他、他の自治体、高校等のナッジ活用を支援
令和5年度には、大阪府立泉北高校の取組がベストナッジ賞（高等学校部門）を受賞

HP等	ホームページ https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/torikumi/seeds/index.html 「ベストナッジ賞」コンテスト2023（高等学校部門）結果 https://www.env.go.jp/press/press_02397.html

豊中市行動デザイン研究会

自治体	大阪府豊中市	設立	2024.1	メンバー	4人＋α	形態	ハイブリッド

目的/概要

右記ミッション・コンセプト・ビジョンに基づき、主体的に考え、自ら課題に取組める職員を増やすことを目指します。

ミッション	コンセプト	ビジョン
「行動経済学とデザインの力でワクワクすることを増やしていく」	「考える場所・はじめる場所」	「仕事を楽しめる職場に」

【最近の取り組み、特徴】

病院からスタートした研究会で、2024年度は市のグループ研究として支援を受ける。病院の多職種だけでなく手挙げした市役所職員向けにも実施。

1．定例MTGの開催

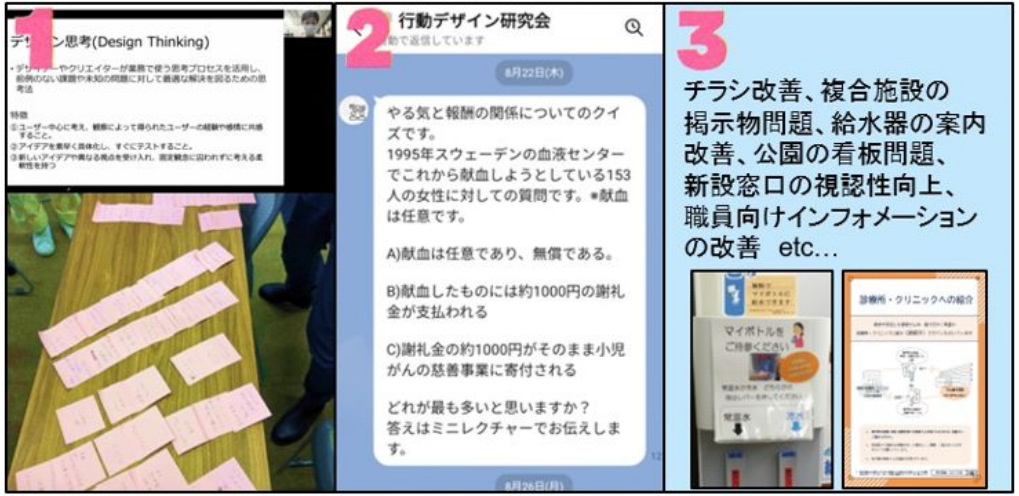
行動経済学やナッジ、デザイン思考等の基礎習得とワークショップを実施。

2．SNSの運営

ラインからMTG動画を配信。簡単なクイズも発信。相談受付も可能。

3．課題の相談対応

困りごと・課題の解きほぐしや改善案のアドバイスに都度対応。



HP等	行動デザイン研究会（Behavioral Design Team）(notion.site)

大垣市行動デザインチーム （ORBIT）

自治体	岐阜県大垣市	設立	2021.7	メンバー	10人	形態	有志
目的/概要	ナッジに興味を持った若手～中堅職員が有志で集う勉強会。各課と連携したナッジの活用による事業成果の達成と、ナッジの知識を共有し市役所内の共通言語とすることを目的に活動中。						

【最近の取り組み、特徴】
〈各課との取り組み〉
　各課にある既存のチラシにナッジを取り入れ提案
・課税課　・住宅課　・国保医療課　・公園みどり課　・建築課
・都市計画課　・都市プロモーション室　・職員組合　など

〈ナッジ共有の実績〉
2022.5・2023.5 取り組みを評価され人事課からの依頼を受けて2年目職員を対象とした研修でナッジのワークショップを行ったPG研究会や紹介いただいた書籍を参考に座学とグループワークを実施、好評を得た。
2023.1 全職員向けにセミナーを開催。ナッジを活用した案内チラシを作成し参加者50名を集めた。係長級以上の管理職に対して参加を促すことで、若手職員がナッジ提案をしやすい環境づくりを目指した。



HP等	YouTube　https://youtu.be/iqnR3Dgh5f8?si=pPr8QiXsUBjbEy6Z

尼崎版ナッジユニット

自治体	兵庫県尼崎市	設立	2019.10	メンバー	10人	形態	有志
目的/概要	ナッジの庁内への推進、個々のメンバーの実践 /全国で2番目の自治体版ナッジユニットとして庁内外で活動中。業務外での商店街での実践、研修講師、庁内からの相談対応など。						

【最近の取り組み、特徴】

全国で2番目の自治体版ナッジユニットとして 2019年に活動開始。メンバーが知見を持ち寄りつつ、個人での実践を行っている。庁内からの相談にも対応しており、過去に「自転車マナー啓発ポスターデザイン」「地下道での交通マナー対策」等に対応し、実装された取組もある。また、2024年度は大阪大学のプロジェクト「ナッジと公共政」に、市の業務ではなく、自主的なナッジユニットの活動として参加し、軽自動車税に関する提案が最優秀賞に選ばれた。

2024年6月から、「ナッジ」がEBPMに関する公務に位置付けられ、自主グループとの役割分担に調整が必要な状況である。現在は同一人物が両方を運営・担当しているが、担当者の異動等を考え、組織内のナレッジとして蓄積していく必要がある。

不法投棄対策看板（ナッジ前 →ナッジ後）でゴミ激減





商店街ソーシャルディスタンス



自転車マナー啓発看板デザイン



HP等	2021.10.22 尼崎経済新聞「『尼崎版ナッジ・ユニット』設置から3周年」 https://amagasaki.keizai.biz/headline/1156/ 都市とガバナンス第39号「実践から始める行政ナッジー尼崎版ナッジユニットー」https://www.toshi.or.jp/publication/18655/

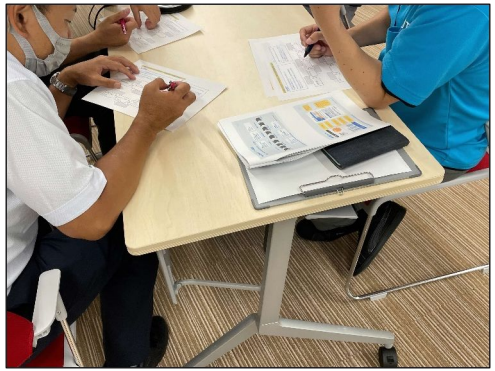
江津市行動デザインチーム （Go▶Bit）

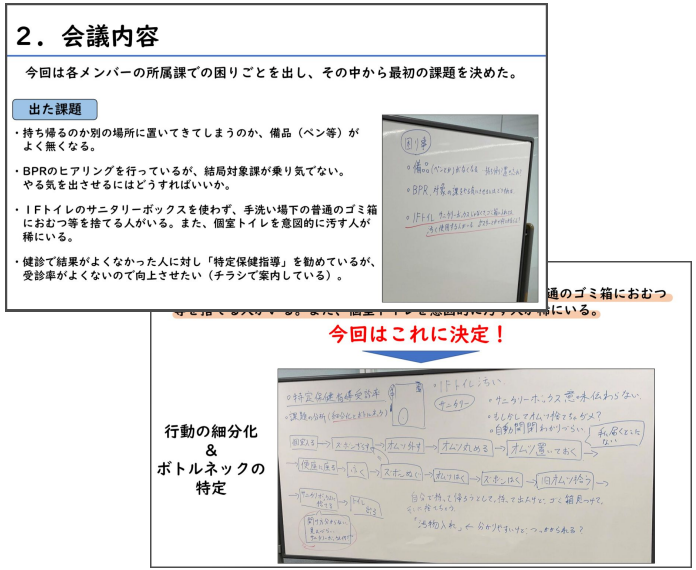


自治体	島根県江津市	設立	2023.10	メンバー	10人	形態	ハイブリッド
目的/概要	庁内有志が構成員のワーキンググループとして発足。庁内のナッジ相談に対応することで、課題解決とともに職員へのナッジの浸透を目指す。						

【最近の取り組み、特徴】
設立したばかり
ナッジ勉強会の開催
「特定保健指導」の受診率向上のためのナッジ等を検討中







HP等	-

岡山県版ナッジ・ユニット

自治体	岡山県	設立	2019.11	メンバー	5人	形態	公式

目的/概要	岡山県庁政策推進課内に設置されたナッジ・ユニット。 職員研修の開催や、庁内をはじめ県内市町村からのナッジ相談に対応し、ナッジに対する理解の浸透や、施策・事業等へのナッジ活用に取り組む。

【最近の取り組み、特徴】

2024年度の活動（11月現在）

○職員等のナッジに対する理解の浸透
・ナッジセミナー
「現場で実践使えるナッジ」149名参加
・ナッジ研修、ワークショップ開催　3件

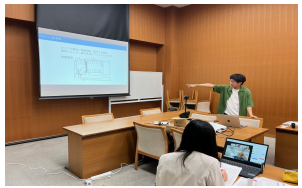
○施策、事業等へのナッジ活用の支援
・県庁内ナッジ相談　15件
・市町村等ナッジ相談　6件

2024年度は、ナッジのすそ野を広げるべく
県庁外でナッジ研修・ワークショップを開催！

ナッジワークショップの様子


市町村研究会


中学保険部会


岡山県立大学

－2024年度の取組事例－
県民満足度調査の回答率UP
（46.6%→61.5%）
Easy　明確な動作指示
　　回答時間の目安
Attractive　色を変更
　　特別感を強調


お礼状兼督促状


封筒

HP等	-

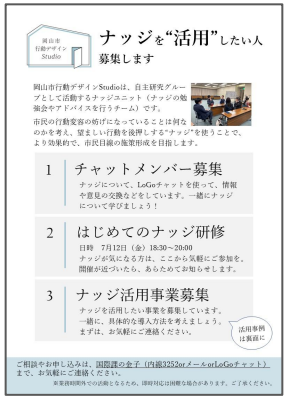
岡山市行動デザイン Studio

自治体	岡山県岡山市	設立	2022.6.30	メンバー	8人＋α	形態	有志
目的/概要	岡山市の職員自主研究活動支援制度を活用した有志のナッジユニット。行動科学を学ぶことで、住民や職員の行動変容を後押しし、業務をより効果的、効率的に行えるようにすると共に、業務へのモチベーションの向上も期待する。						

【最近の取り組み、特徴】業務時間外での活動ですが、3年目はチャット上での活動も行っています。

＜2023年度＞
・ワークショップ 「効果検証基礎の基礎」
「PolicyGarage研究会　サテライト会場」
「はじめてのナッジ」
庁内職員向け、市内中高生向け等

＜2024年度＞
・ワークショップ 「はじめてのナッジ」（庁内職員向け）
チャットメンバーとの情報共有
チャット上でのナッジに関する情報の提供、相談への対応、
事例を挙げての討議などで、ナッジの知識を深めながら、活用スキルを高めています。





HP等	-

TOPICO（東讃保健所 DX推進チーム）

自治体	香川県	設立	2023年9月	メンバー	13名	形態	公式
概要	**地域の公衆衛生の要である保健所の　DX**を推進するため、保健医療職・事務職員による公式　DXユニットとして東讃保健所内に設立。DXと親和性の高い **行動インサイト** や**EBPM**の手法を積極的に活用し、住民のウェルビーイングを高める DXプロジェクトを現場主導で企画・実行する。感染症業務支援システムの構築により、令和5年度健康福祉部長表彰を授与。保健所広報　DX推進の取組により、令和6年度チヨダ地域保健推進賞を受賞。先進事例として、県庁内の　DX推進リーダーの勉強会でも取組を発表し、庁内での認知度も高まっている。						

since 2023.9

TOusan
Public health center
Innovation
COmmunity
with dX (digital transformation)
& BI (behavioral insight)
design

▲ DXは手段。コミュニティとして、新たな価値を創出できる組織文化醸成こそが、真の目標である。

最近の取組①　スラッジを削減し、コロナ禍で激減した検査数を回復！

全国的に保健所の性感染症検査数がコロナ禍以前まで回復していないという課題に対し、ウェブサイトの刷新、検査案内動画の公開、オンライン予約システムの内製導入等を実施。結果、コロナ禍以前の水準を超えて、東讃保健所の検査数が3倍以上増加し、ほぼ満員となった。

*本取組のデータは、第83回日本公衆衛生学会（札幌）にてポスター発表した。

最近の取組②　ナッジを活用し、公衆衛生の広報DXを深化！

東讃保健福祉事務所（保健所）の公式 YouTubeチャンネルで、保健所と関連するトピックについて各種普及啓発・案内動画を公開し、県の広報誌や地方紙でも周知。　企画書のひな形に行動インサイトのフレームワークをデフォルトで組み込むことで、広報の質向上を図っている。

*これまでに、熱中症、ペットの迷子札、難病の申請手続きなどの動画を公開した。

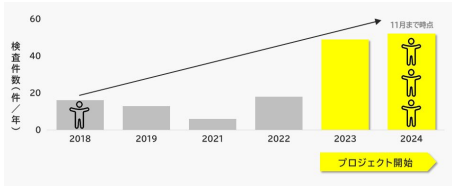
最近の取組③　公式LINEを活用し、地域の高齢者施設との連携を強化！

平時からの感染症対策における地域連携を強化するため、地域の高齢者施設を対象に、感染症情報を配信する公式ラインアカウントを開設。周知対象の約7割（70施設以上）が友だち登録を完了。今後、アンケート調査を実施し、さらに効果的な配信企画を目指す。

*本取組のデータは、第70回四国公衆衛生学会（愛媛）においてポスター発表を予定。

最近の取組④　ノーコードツールを駆使し、多角的に保健所 DXを推進！

香川県に試験的に導入された kintoneを、先駆けて保健所業務で活用。感染症分野を中心として、様々な業務改善システムを提案。結核に関する業務時間を大幅に削減。県庁内の他部局とも連携・協力し、県内の保健所全体の業務改善・サービス向上につながるプロジェクトを企画・進行している。　*現在、生成AI利活用ワーキング、動物愛護分野、医事分野の課題解決などに取り組んでいる。



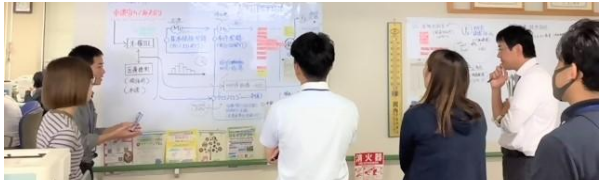
▲ 東讃保健所の検査件数は、介入開始後、3倍以上増加した。



▲ 啓発動画には、行動インサイトが随所に織り込まれている。



▲ 県内初の、保健所公式 LINEチーム。



▲ 初期の活動風景：業務横断的チームとして常時活動する体制は、未だに特例的だ。

チームナッジやわたはま

自治体	愛媛県八幡浜市	設立	2021.6	メンバー	11人	形態	ハイブリッド
目的/概要	市民ファーストの考えを基にナッジを用いた事務の改善を行い、 顧客（市民）満足度（CS:Customer　satisfaction）の向上につなげる。						

・特徴　3チーム体制で活動中
　　総括チーム（2人）
　　検証チーム1（4人）
　　検証チーム2（5人）

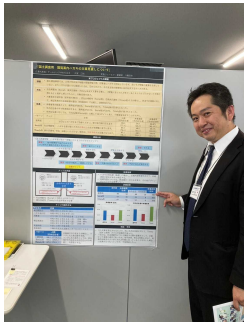






・最近の取り組み
2022年　7月　第41回PolicyGarage研究会に登壇
2022年10月　若手職員向けスキルアップ学習会を実施
2022年12月　ベストナッジ賞出場
2023年　8月　新規採用職員向け研修の実施
2023年12月　ベストナッジ賞出場 ×2件
「国土調査用閲覧案内ハガキの文章見直しについて」は優秀賞を受賞！

その他　毎月第2水曜日に全体ミーティングを開催



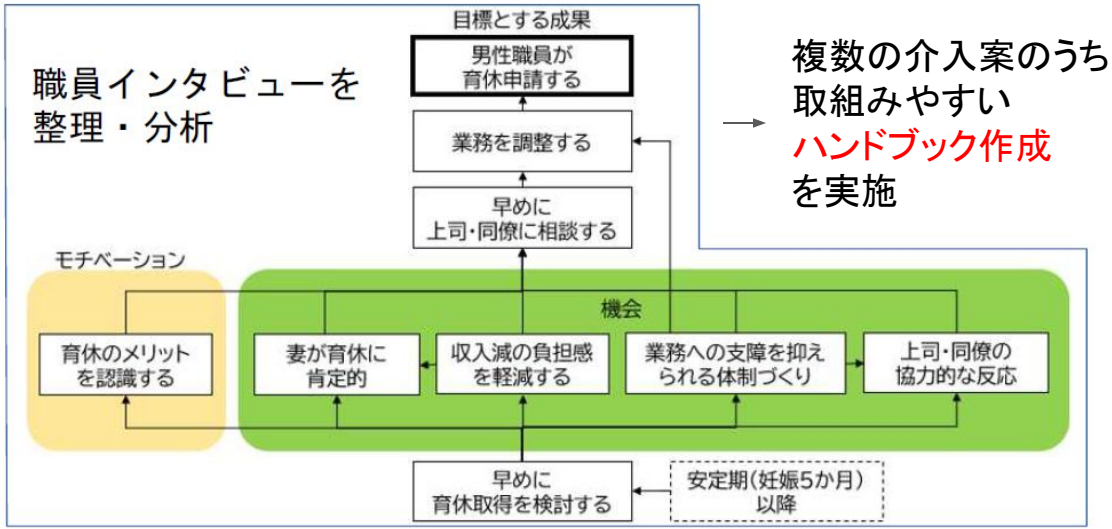


HP等	行動経済学会 第17回大会ウェブサイト　http://www.abef.jp/conf/2023/index.html

出水市行動デザインチーム （IBiT）

自治体	鹿児島県出水市	設立	2021.5	メンバー	11人＋α	形態	ハイブリッド
目的/概要	1　ナッジの実践 2　庁内へのナッジの普及						

【最近の取り組み、特徴】男性職員の育休取得促進



→ 複数の介入案のうち
取組みやすい
ハンドブック作成
を実施



育休ハンドブック(全12ページ)
庁内電子掲示板で配信

取得率

2022.4～2023.3	→	2023.4～2023.11
50%		50%

HP等	-

気象庁行動デザインチーム（JBiT）

自治体	気象庁	設立	2024.4	メンバー	95人	形態	ハイブリッド

目的/概要	行動科学の考え方やデザイン知識を体得し、庁内業務で活用できるようになることを目的とし、全国各地の気象台職員が有志で参加しています。

【特徴】
以下、3つの柱の下、勉強会や交流会を行っています。
（1）行動科学・ナッジ
（2）デザイン
（3）自治体職員との交流

【これまでの取り組み】
行動科学・ナッジやデザインの有識者を講師としてお迎えしオンライン勉強会を開催しました。
また、自治体職員との交流として、尼崎市版ナッジユニット・堺市環境行動デザインチーム（SEEDs）の方々と対面での交流会を開催しました。



合同勉強会の開催や気象台職員と交流してみたいナッジユニットがありましたらぜひご連絡いただけると嬉しいです。

オンライン勉強会の例



オンライン勉強会の様子



自治体職員との交流会の様子



HP等	-

中国地域行動デザインチーム （ChuBiT）設立準備中

自治体	(公財)中国地域創造研究センター	設立	2025.5(予定)	メンバー	5人	形態	ハイブリッド

目的/概要	中国地域において、自治体・企業がナッジを積極的に事業に取り入れることで地域課題の解決や地域活力の向上につながるよう、ナッジの普及啓発・相談などの支援や研究活動を実施。

最近の取組み・特徴

講演会

【自治体向け】

- 自治体向けナッジセミナー
  （講師：大竹文雄教授　参加者：146名参加）
- ナッジワークショップ
  （講師：大竹文雄教授　参加者：34名参加）

【学生向け】

- 高校生ナッジセミナー（看護）
  （講師：竹林正樹教授　参加者：皆実高校看護学科）

図 セミナー案内ポスター



実証研究

【移住推進】 共同：広島県、大阪大学大竹研究室

広島県が主催する移住セミナーの参加者を増やすために**SNS広告にナッジ**を活用

効果　参加者：広告クリ　検証中

図 SNS広告①
社会規範・多数派型



図 SNS広告②
郷愁・人気ワード型



【無断駐車対策】 共同：岡山県版ナッジユニット、岡山県立大学

岡山県の公共施設の駐車場の**無断駐車抑制のためにナッジ**を活用

効果　無断駐車発生率：13%(設置前) →9%（設置後）

図 EAST分析



図 ナッジ対策物



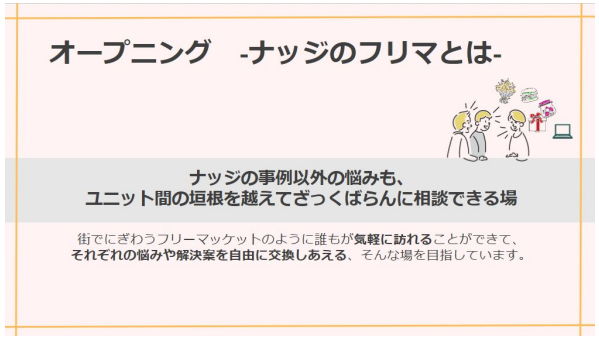
HP等	ホームページ：中国地域創造研究センター「ナッジユニットについて」（調整中） 書籍：中国地域白書「表題調整中」2025年5月刊行予定）

ナッジに取り組む自治体職員の交流の場 “ナッジのフリマ”

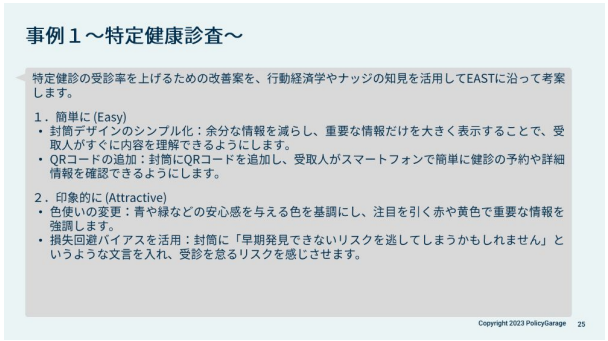
自治体職員以外も歓迎！

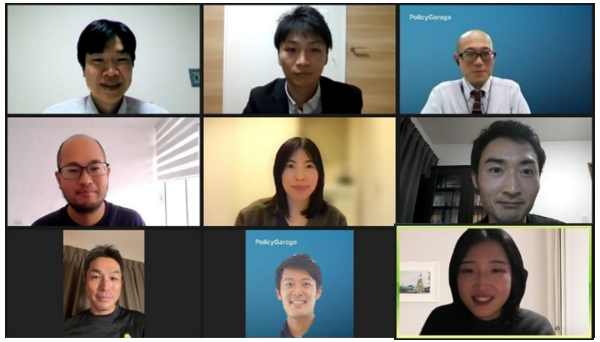
ナッジをテーマにしながら、自治体職員同士のネットワーク構築も進んでいます （2023年6月から計12回開催）











学会の内容を参考に、仕事でも便利に使っています！

ChatGPTがEASTフレームワークに沿ってナッジを考えくれることにビックリ！

回答をそのままは使えないけど、たたき台として有効活用できそう！

開催の案内メールを希望の方は、次のページの PolicyGarage研究会の案内メールに登録してください！
参考資料：「ChatGPTの活用とナッジ施策への応用」（自治体ナッジシェア）

11月18日（月）ランチタイムに開催

『ナッジ・ユニットを作って良かったこと、ナッジを活用して良かったこと』について

考え方／スキル

・相手のことを考えるようになった
・仕事のやり方が一段
　アップデートされた
・異動をしたとしても、
　片足はナッジの軸を持って
　物事を考えられる
・新たな武器

モチベーション

・やる気がある若手の受皿になっている
・役に立てるといううれしさを感じる
（職員から感謝される機会が増えた）
・日常に隠れているナッジを
　見つけるのが楽しい
・純粋にワクワクする

つながり

・新たな人と人がつながった
（他自治体や自団体内）
・想いを相談できる仲間がいる
・行動科学をレンズとして使う
・相談が寄せられることで、
　庁内のいろんな業務に詳しくなった
（新しい入り口）

第67回PolicyGarage研究会
（第36回日本版ナッジ・ユニット
連絡会議）

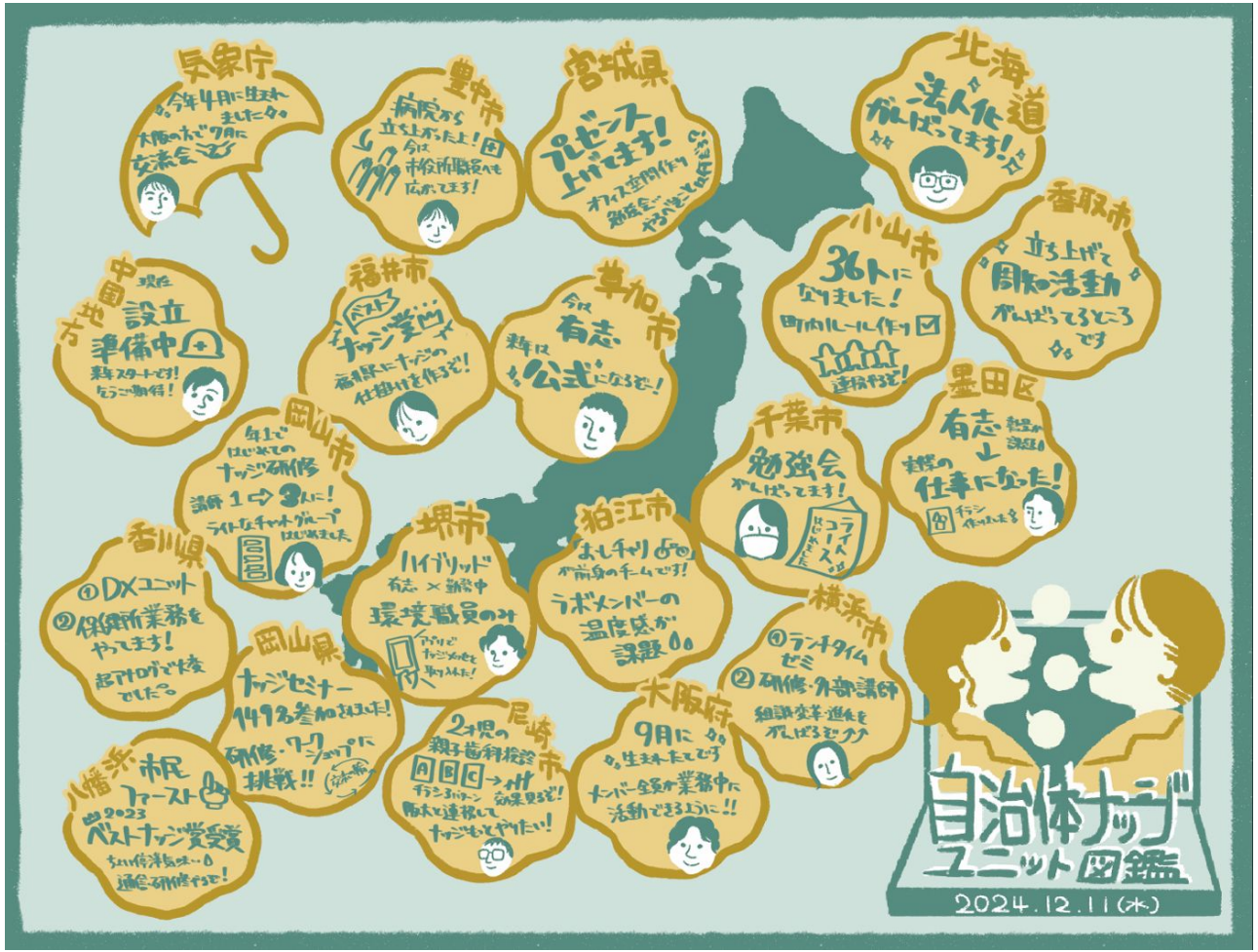
自治体ナッジ・ユニット シンポジウム

全国の自治体ナッジ・ユニットのメンバーにより、本図鑑の内容をもとに、これまでの活動の振り返りや今後の抱負について発表や意見交換を行いました。

（日時）
2024年12月11日（水）19:00~20:30
オンライン開催

（コンテンツ）
・ナッジ・ユニット発表
・行動科学のこれからについて
考える

参考資料
[PolicyGarage HP 第67回研究会ページ]



（作成）グラフィックレコーダー：矢部たつこ

おわりに

これまで各チームでは、ナッジを入口として、ウェルビーイングの実現や組織変革、DX、働きがいの向上、市民との協働、職員採用など、多様な取り組みが展開されてきました。ナッジは、「人間らしさ」と、一見それとは対極にある「データ」や「エビデンス」との化学反応を促す触媒となり、様々な可能性を拡げていることが伺えます。そして何より、職員がワクワク感や面白さを持って取り組めることに、ナッジの大きな魅力があるのではないでしょうか。さらに近年はPolicyGarageの取り組みを起点としながら、アカデミアとの連携も含め、知見を共有するエコシステムの構築も進められています。これから、ますます多くの自治体と共に、新たな政策の未来に向かって取り組んでいければ幸いです。



＜自治体ナッジ・ユニットの取り組みに関する参考資料＞

自治体ナッジシェア　https://nudge-share.jp/

大阪大学社会経済研究所、行動経済学会、PolicyGarageで運営するナッジの事例共有サイト。
ナッジの基本、実践方法、取組事例に加えて、自治体ナッジ・ユニットの活動レポートも掲載しています。



自治体職員のためのナッジ入門
どうすれば望ましい行動を後押しできるか？

特定非営利活動法人 Policy Garage編
公職研

自治体職員の目線からナッジの実践や普及、体制構築について解説した書籍です。

PolicyGarage 研究会

毎月第2水曜日の 19:00～20:30オンライン開催。
自治体ナッジ・ユニットの取組事例や最新の政策動向を取り上げます。
案内メールの登録は以下の HPから
https://policygarage.or.jp/

お問い合わせ：特定非営利活動法人　Policy Garage　info@policygarage.or.jp